

遊行の お砂持ち

日時 令和五年五月十四日
場所 福井県敦賀市 氣比神宮

主催 時宗・時宗総本山清浄光寺(遊行寺)
協力 時宗青年会(全国大会開催)

お問合せ 時宗宗務所内実行委員会

〒251-0001

神奈川県藤沢市西富一八一一

TEL 〇四六六―二三―七二七六

FAX 〇四六六―五五―二九二二



『一遍上人縁起絵』乙本 第八卷第四段 清浄光寺(遊行寺)蔵



『一遍上人縁起絵』乙本 第八巻第四段 清浄光寺(遊行寺)蔵

正安三年(1301)遊行二祖真教上人が氣比神宮参詣の折、上人自ら海浜より砂を運ばれ、随従の僧尼、道俗貴賤男女みなも砂を運び、七晝夜で参道を完成されました。

「遊行のお砂持ち」

宗祖一遍上人は全国を遊行しながら「南無阿弥陀仏 ^{六十万人決定往生}」と書かれた念仏札を配り、誰もが極楽往生できる教えを弘められました。この法灯(遊行上人)を継がれたのが二祖真教上人です。一遍上人は一所不住の旅をされましたが、真教上人は教団の成熟と布教の確立を目指し、遊行の中心地を定められます。縁あって選ばれたのが関東、そして北陸の地でした。

真教上人は、正安3年(1301)、敦賀氣比神宮に参詣した際、沼地によって参道の整備が進まないことを知り、自ら「もっこ(土砂の運搬具)」を担ぎ、海辺の砂を運ばれました。時衆の僧尼らもこれに続けと砂を運び始め、やがて近隣諸国で結縁した人々も大勢集まり、道路はさながら市場のような賑わいにまでなっています。この一大事業は見事成功された真教上人の威徳を讃え、世にこれを「遊行のお砂持ち」と伝えられました。

かの俳人・松尾芭蕉は宿屋の亭主からこの「お砂持ち」の故事を聞き、「月清し 遊行のもてる 砂の上」と詠んでいます。

その後、代々の遊行上人が法灯相続した際には、「お砂持ち」の神事が行われることとなりました。この度、遊行75代一浄上人の登位に伴い、18年ぶりに「お砂持ち」が厳修されます。



二祖真教上人お砂持ち像



福井県敦賀市氣比神宮



時宗来迎寺

お砂持ち行列順路



遊行上人お砂持ち 行事日程表

- 10:00 西方寺跡出発(キッズパークつるが周辺)
- 10:30 お砂場到着(氣比神宮表参道前)
- 10:45 お砂場出発
- 11:00 氣比神宮到着・お砂まき・御賦算